

# 大学院教育の質保証と監督

任増林

中華人民共和国  
国务院学位委员会办公室  
教育部学位管理·大学院教育局  
質監督·情報課

# 大学院教育の質保証と監督

- 背景
- 質保証と監督体制
- 質保証活動
- 主な問題点と挑戦

# 背景

- 中国における学位制度の基本的特徴
  - ◆ 学位授与権委任制度
  - ◆ 中央と省レベルによる二重管理
  - ◆ 大学と科学研究機構による学位授与の決定

# 学位授与権委任制度

- 大学院生の募集や育成及び博士や修士の学位授与は国家の委任が必要
- 博士や修士に関する学位授与権の委任は国務院学位委員会の審査と認可が必要
- 学位授与権の委任は規定項目により学科別に行う
- 学位授与権の委任は学会の専門家による評議と審査を経て行う
- 通常の学位とは別に専門的(職業的)な学位を設置する場合、その学位授与権の委任に関する審査は単独で行われる
- 初めて博士や修士課程を開講した大学や機構は別途機関全体としての審査を受ける

# 中央と省レベルによる二重管理

- 国務院学位委員会は法律に従ってほぼ全ての学位に関する事務を管理
- 31の省レベル学位委員会と軍隊学位委員会：
  - 法律に従って管轄する地区や部門内の学位に関する事務を管理
  - 国務院学位委員会が委託する業務を担当

# 大学と科学研究機構による 学位授与

- 大学と科学研究機構は法律に従って学位評定委員会を設置
- 国家が認可した学科における学位評定委員会による決定事項：
  - 申請者への学位の授与
  - 既に授与した学位の取消

# 学位授与体系の現況

- 291の大学と71の科学研究機構が博士の学位授与権を委任されている。委任された学科数は3112。
- 529の大学と268の科学研究機構が修士の学位授与権を委任されている。委任された学科数は11489。
- 336の大学が専門的(職業的)な学位の授与権を委任されている。

# 学位授与体系の現況（続）

- 2005～2006年度
  - 博士の学位授与 約2.6万人
  - 修士の学位授与 約20万人
- 1981年の学位制度整備以来
  - 博士の学位授与 約16万人
  - 修士の学位授与 120万人
- 現在の大学院在籍数
  - 博士課程 約19万人
  - 修士課程 約78万人



# 質保証と監督体制

## ■ 三重の質保証と質管理体系

- 中央政府：

国务院学位委员会は学位条例を実施し、法律に従って学位の質を監督する。

- 省レベル学位委員会：

管轄地区において学位授与に関する質の監督と評価を行う。

- 学位を授与する大学と機構：

授与する学位の質を保証する。

# 質保証と監督体制（続）

- 質保証と監督に関するモデル
  - － 学位授与権の委任獲得
    - － 委任審査の過程
  - － 学位授与権の委任保持
    - － 定期的な評価の過程
  - － 専門課程の監督
    - － 経常的な監督の過程

# 質保証と監督体制（続）

- 質保証と監督に関する責任機構
  - 中央と省レベルの政府部門
    - 学位授与権の委任の審査と継続
    - 専門課程の監督
  - 非政府組織または準会員制の機構
    - 学科のランキング
    - 専門課程の調査とランキング

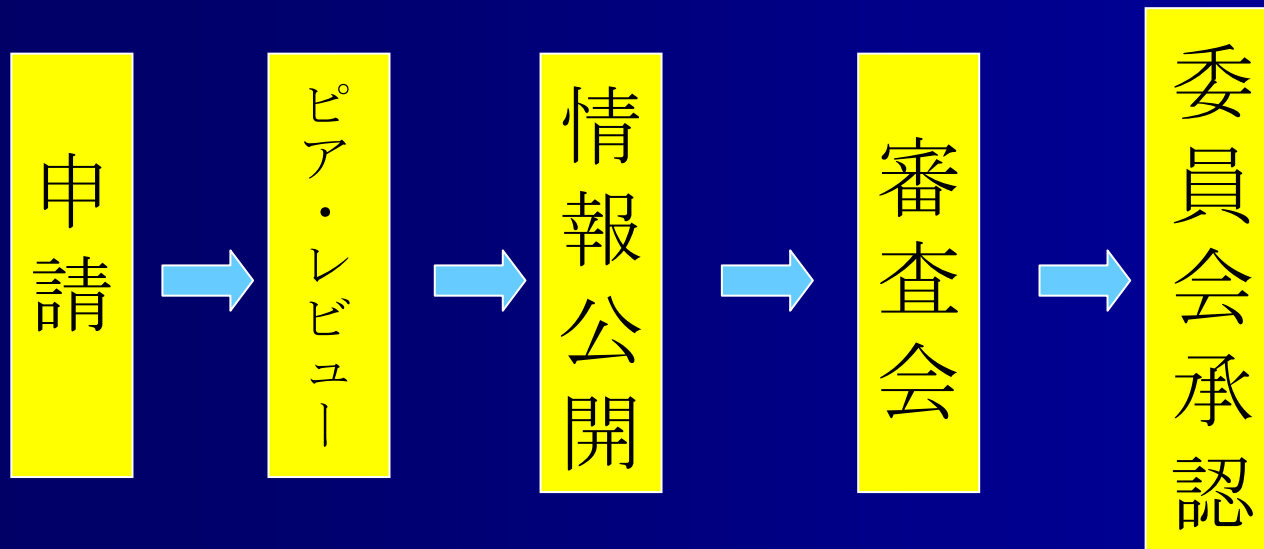
# 質保証と監督に関する 主な活動

- 学位授与権委任獲得のために必要な審査の過程
- 学位授与権委任の継続：博士や修士の学位を授与する学科に対する定期的な評価
- 博士や修士の学位論文に対する抽出評価
- 専門的（職業的）学位の調査と評価
- 学科の評価とランキング

# 活動一：委任審査の過程

## —博士レベルの例

### ■ 審査の流れ



# 活動一：委任審査の過程（続） —博士レベルの例

## ■ 申請

- 大学・研究機関：200～300
- 学科（専攻）：2500～3500

# 活動一：委任審査の過程（続）

## —博士レベルの例

### ■ピア・レビュー

- 専門家 3万人以上
- 専門家参加 3500人以上
- グループ数 350～400
- 評価意見の回収率 99%以上

# 活動一：委任審査の過程（続）

## —博士レベルの例

### ■ 情報公開

意見募集

開示情報の確認



# 活動一：委任審査の過程（続）

## —博士レベルの例

### ■ 審査会

- 再審査のための専門家を定期的に招聘、任期4年
- 再審査のための専門家760人以上
- 再審査のための部門数70
- 三分の二以上の多数決制

# 活動一：委任審査の過程（続）

## —博士レベルの例

### ■ 国務院学位委員会の承認

- 委員数50人以上、大学長・著名な専門家・関係部門の代表者で構成。
- 三分の二以上の多数決制

## 活動二：博士の学位を授与する学科（専攻）の定期評価

- 1995～1997年、少数の学科（専攻）で展開
- 2005年、定期評価を制度化
  - 6年ごとに評価
  - 評価による結論：
    - 継続委任
    - 期限付き改善指示、2年後に再評価
    - 委任の取消

# 活動三：博士の学位論文 抽出評価

- 2000年より実施
- 2000～2004年、抽出評価数700
- 2005年より論文評価と学科（専攻）に対する定期評価を統合して行われる。抽出評価数1500以上、抽出率約30%。

# 活動四：分野別ランキング

- 実施主体：  
学位・大学院教育発展センター
- 実施主体の性質：  
政府が指導する非政府機構
- 評価の性質：  
大学と機構による自主参加
- 評価対象：  
博士や修士の学位を授与する学科(専攻)

## 活動四：分野別ランキング(続)

- 2002～2004年を第一周期として実施
- 大多数の分野を対象に評価
- 229大学・研究機関の1336学科(専攻)が参加
- 80の分野別ランキングを作成
- 2006年より新しいランキング周期が開始

# 学科審査と評価要素

- 教員組織(比重:0.3)
- 科学研究(比重:0.25)
- 教育と養成(比重:0.2)
- 設備条件(比重:0.15)
- 関係学科(比重:0.1)

# 博士學位論文の評価要素

- 論文テーマ(比重:0.2)
- 創造性 (比重:0.6)
- 理論、専門知識、研究能力  
(比重:0.2)



# 分野別ランキングの評価要素

- 学術面の評判(比重:約0.2)
- 教員組織(比重:約0.2)
- 科学研究(比重:約0.4)
- 人材育成(比重:約0.2)

# 主な問題点と挑戦

- 多様性と一般的質基準
- 巨大な教育規模により生じる現在の管理モデルへの挑戦
- 大学や研究機関の自主性と自己管理
- 非政府機構と自治的組織の発展と機能
- 評価における「量」と「質」の関係
- 情報の収集
- 社会への参加とサービス

ありがとうございました！